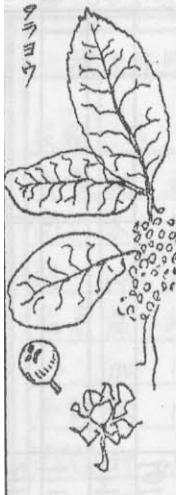


酒々井町
郷土研究会々報
第2号
昭52.6.10
発行
酒々井町郷土
研究会総務部

春の町外
史跡めぐり
滝不動で甘茶のサトウ

○肌寒い一日で、心がほのほの、物知りになりた気分！
○滝不動で始めて味わった甘茶……忘れられませぬ。
○(おいしくもあり、おいしくもなし?)
○干田で一日も入らないうちに、過さず飲んで、最高でした。
○K氏のほならん「認識」——よかったですね。



四月五日八日の雨日の史跡めぐり
は晴天に恵まれ、参加者五十名を
越す盛況でした。橋本市郷土資料
館では金石文の辰親を主題として
石碑や拓本展が開催中で、石碑石仏
に明かると、会司相宗両氏の説明に耳を
傾け、道祖神や庚申塔、板碑(香石下
総式)等の知識を得ました。
橋本市三山にある二宮神社は平
安時代の創建とされ、附近二十三の村
の総鎮守として、所祭印十石を受け
ていたといひ、七年毎に行われる
秋の大祭は神輿や山車が練まり、
社殿とまわめるといふこととす。
社殿横にだらよりの木を目ざとく
見つけた相宗氏に「たらよ」といふ
インドで葉面に経文を書きつけた思多羅
樹の葉にその葉を一つずつ付けたものと
の説明を聞き、高木に見えませんでした。

習志野森林公園の中にある東日本
最古の民家大天宮は長生郡より移
築公削されていて、その素朴な中に
日本の美が深く息づいている。たすま
いの中で湯茶をのんだとき、昼食となり、
市川市立博物館へ付近に
須和田遺跡、嵯山思塚、坂の内貝
塚があり、考古学史料館として著名な
所です。一時閑足らずの見学では、鐘
約を一歩りするのがせいぜいで、ミ
はせいともゆつくりと再訪したい
所です。
小金中野牧は佐倉七牧と共に江戸
時代の野馬牧場で、現在は交通の
はげしい道路側に捕込場があり、
果指史跡となつていました。
最後の録々谷大仏は「美男におわす
……であらう」と春木主司の中期待感
大まゆ対面したのが……「まあ、小籠の
……でもないわね」大仏に「なつて、中仏
だ、ペロペロも叩かれたが……」
今から三百年も前の安永五年に福田
文左衛門といふ分限者が、先祖一
族の供養の爲奉造したと伝えられ
ている青銅造り坐像で、高さ一八

馬橋の獅子舞
町の指定無形文化財になる

(見学会)
酒々井町には
現在、墨上
馬橋の
若橋、馬橋の
三部落で獅子舞が演舞、伝承
されていきます。今回町指定の
無形文化財となりましたの
機会に見学会を開催します
。七月十五日(金)
。馬橋 香取神社
。午後六時頃から始まります
馬橋の獅子舞は大獅子、
中獅子、女獅子、猿獅子と笛
と太鼓によつて構成され、芝
獅子、へいそく、猿獅子、剣
の舞などの種目があります。

念仏唄
へ大寺の香のけむりはいと細
けれど、天にのぼりて白け
わりとなる
へ千早ぶら神の鳥居を通る時
忌もけがれも地に伏しにけり
へ名主様は家瓜屋敷の人であ
る。百石御支配なまる
へ尚書日は墨の獅子舞(真指定)
も六所神社、墨の長定で演舞
されますので、お知らせして
おきます。

史跡見学会
会報 4月5日、8日

| | | |
|----|------|-------------|
| 収入 | 会費 | 50 × 1000円 |
| | 寄附 | 50,000 |
| | 寄計 | 250 |
| | 支計 | 50,250 |
| 支出 | バス | 2回 × 8000円 |
| | 弁当 | 54個 × 350円 |
| | 茶菓子 | 2回 × 18,900 |
| | コーラ他 | 112 × 70 |
| | 計 | 7,840 |
| | 計 | 50,250 |

× トルで市指定文化財となつて
います。一応のコースを回り
終つて……時は春のまぎさ
招の花の香に誘われて見学のバス
は滝不動にて最後のまぎさの時
を過ごしました。八日は花まつり
予期せぬ甘茶のサービスに身も心
もきよめられる心地でした。七十
才以上の方には健康竹が無料
いただけ、会員の木内忠次郎氏に
プレゼント(会報の題字を書き下さ
つていただきます)され、春の一日
多し史跡めぐりでした。(終)

郷土研旬会

陽の助に蜘蛛の困索崩れけり
主室の座にも春や御枕咲き
一人づつ歩く道なりとみ咲く
銀座裏という界隈の籠かた
夜明けの春の鳥鳴り、舞の舞
芽吹く野の瓜なれば山橋
山松散りくる畦。塗ううつる
カサで著く明塗。塗種袋
舟底に乾き、蹄のちらはれる
牧場の馬百態や花盛り
牡丹の芽翁の筆勢たまく
花後けて物思の歩み確かなる
花に誘ふ春かばう。孫いもり
あがりに無人の駅や鳥啼る
雲雀揚がる空の深きと哀
蛇の句、ほして夕暮
巨松の翠を分けし。空かな
春よりら綿菓子の子も獅子舞
散るもよし。何ぞあすは花の下
りたる。煙の底や。瑞雲雀
松の冬。花集りて。葉弄り。梨
成。浦冷氏(敬亭)茶寿。祝賀旬会にて
朝虹伴白会。校稿

郷土研 同誌

三月十五日

会報第一号発行
酒々井町古文書目録と同封にて
会員に配布 (一〇七名)

三月二十三日

野草観察会三月例会
青年研修所 (根古屋方面
参加者 十二名)

四月五日 八日

町外史跡めぐり (飯橋市川)
A班二十八名 B班三十五名

史跡めぐり 第2回

△七月五日(火)

△午前八時三十分
役場集合

△午前八時三十分五発

△会費一〇〇〇円
昼食代を含む

△定員三十八名
先着順締切

△雨天決行

△申し込みは教育委員会
電話(96)一一七一

●四月十日

町内史跡めぐり
本佐倉 (馬橋方面
参加者四十名)

●四月十七日

野草観察会四月例会
東酒々井 尾上方面
参加者 二十名

●五月十四日

運営委員会
六・七・八月の事業計画について
会報第二号の発行について

●五月二十九日

野草観察会五月例会
佐倉野草の会と合同にて
印旛村 平突方面へ

○役場去発

○滑河観音

○神崎の森

○伊能忠敬記念館

○香取神宮

○佐原 観福寺
(伊能忠敬の墓)

○山倉才六天

○役場帰着

申し込みはお早めどうぞ

野草の会



名もない野辺の
草花を捜して
春の芽ぶきと肌
で感じながらの
一日を過ごす
きまじい
名もない...とは
とんでもない!
いつも見慣れた
踏カフケでも全
く気がつかない
ような草花の一
本一本にも何
とも味含み深い
名前があるの
で、驚きました

●オオイヌノフ
●グリ ●ナズナ
●ミニナグサ
●ハハコグサ
●ムラサキケマン
●オドリコソウ
●スズメノカタビラソウ
●サンガイソウ
●ギシギシ ●スカンポ
●ハコベ
●ケバナ ●ノボロギク ●スズメノ
●エンドウ ●カラスノエンドウ
●ヤエムグラ ●ホタルカスラ
●ヒメジオン ●ジシバリ ●キユ
●ウリグサ ●タンポポ ●ジロポウ
●エンゴウ ●スミレ ●ハルジオ
●ネノボタン ●タビラコ(ホトケノザ) ●キツ
とどまることなく知らぬ間に
魔法使いさながらに野山を春一色に
ぬりつぶしてしまつた様です。
名前を覚えさるがこ人も野草と
親しくするとは思いませんでした。
逢う人ごとに足もとの草の名を口
にしたして得意になり、又同じ趣味を
持つた人を見出すようには、心の
底から嬉しく、自然を楽しまん
身近にたくさんの仲間を採ました

夏の野草観察会
(雨天中止
会外も参加OK)
6月18日(土) PM 11:30~
中學校前集合
新坂~地付
7月17日(同) AM 8:00~
光ドライン集合
上郷~萬葉神社
七曲方面 12:00解散
8月21日(日) AM 8:00~
青年研修所集合
根古屋~上本佐倉

春の山には野辺とはちがって
めずらしい、美しい花が咲いてい
ます。●キンラン ●ギンラン
●エビネ ●クマガイソウ ●マイ
●カリソウ ●ウラボシソウ ●フ
●ムシグサ ●ヒトリシズカ ●フ
●タリシズカ ●ハルリンドウ ●フ
●フデリンドウ ●イチリンソウ
●ニリンソウ ●ムラサキサギゴ
●ヤマホトトギス ●ヤブレ
かサ ●コシシ
残念なこともありました。それ
は幼い頃に遊んだ緑のジュータン
を敷きつめたような美しいレネゲ
草の畑が全くなくなつてしまつた
ことですが、箱の早植栽培が普及
したせいだと、農家の人の誠でし
た。ち々とまじいと思つた
のは私一人でしょうか。
カタクリの夜を存知ですか?
五月に咲くという事と、〇〇〇〇に
群生しているという事と、かなたに
目をみては四月来から眠のある
かぎり歩いてみました。花へのあこ
がれ、まぼろしの花へのあこが
れ、又今年の楽しみに、ついでに
三回の観察会を終えて、ついでに
野草の観察会を終えて、ついでに
まつた方々、さうお顔を覚えて、つ
て次は夏の花の季節です。また
元氣にお逢いしましょう。

忘れないで!

- 6月18日(土) 野草観察会 PM11:30~ 中学校前集合
- 7月5日(火) 足跡めぐり AM18:20 役場集合 ¥1,000
- 7月9日(土) 郷土史講座 PM11:30~, PM7:30~
- 7月12日(火) 郷土史講座 PM11:30~
- 7月15日(金) 馬橋の獅子舞見学会 香取神社 PM4:00
- 7月19日(火) 郷土史講座 PM7:30~
- 7月22日(金) 郷土史講座 PM11:30~, PM7:30~
- 8月3日(水) 郷土史講座 PM11:30~, PM7:30~
- 8月6日(土) 郷土史講座 PM11:30~, PM7:30~
- 8月21日(日) 野草観察会 AM8:00 青年研修所集合
- 7月17日(日) 野草観察会 AM8:00 光ドライン集合

さつま芋 150本植えました。収穫の日を夢見ながら書き終えました。

アーツクラフト

第1回 酒々井町の埋蔵文化財

7月9日(土) 講師 北詰崇男氏

酒々井町の台地のいたるところから土器片が発見されているが、それらを実物と分布図とによって、古代人が住居していた年代と生活とを説明する。

昼 PM11:30 ~ 夜 PM7:30~

江戸時代の村の政治

7月12日・19日 講師 檀谷健蔵氏

我々の祖先達が、江戸時代にどんな環境の中で、どういう生活をしてきたか、酒々井町史料集(七)にもとずいてわかり易く説明する。

昼 1/2 PM11:30~ 夜 1/9 PM7:30~

佐倉牧と島田家文書

7月22日(金) 講師 相京晴次氏

印旛、香取、山武郡の広大な地域に跨って存在した佐倉牧の、野馬生産の実体と、史料集(二)の島田家文書によって説明する。

昼 PM11:30~ 夜 PM7:30~

佐倉惣五郎と相模

8月3日(水) 講師 檀谷健蔵氏

宗五郎伝については、虚実紛々として流布されているが、今回は新しい角度の相模を通じて惣五郎像を浮き彫りにする。

昼 PM11:30~ 夜 PM7:30~

本佐倉城と千葉氏

8月6日(土) 講師 沖田善三郎氏

中世500年間、下総の地を領有した千葉氏の来歴と、戦国時代に本佐倉城主であった千葉氏の動向について解説する。

昼 PM11:30~ 夜 PM7:30~

新会員紹介

- | | | | | |
|-----|----|---|---|---|
| 108 | 羨青 | 林 | 隆 | 子 |
| 109 | 青 | 柳 | 原 | 子 |
| 110 | 増 | 田 | 永 | 子 |
| 111 | 清 | 水 | 京 | 子 |
| 112 | 杉 | 園 | 浩 | 子 |
| 113 | 石 | 井 | 初 | 子 |
| 114 | 柙 | 村 | 干 | 子 |
| 115 | 木 | | | 子 |



皆様から要望の多かった夏の郷土史講座と南信の運びとなりました。研修所にクレーンも取り付けられましたので、快適に学習出来ます。今月初のころから、午後一時半からの昼間部と午後七時半からの夜間部の二回開催します。会員にのぞらす多数出席して下さい。

青年研修所

△絵馬を集めていっしょやる方がありまじらう
 △お知らせ下さい
 △「ゆるいけど」と「おだまき」となれたあわけて
 △ただけでせんか
 真子
 会田
 ※このコーナーは会員相互の伝言板としてご利用下さい
 運営委員へお気軽に声をかけて下さい